

(様式第9号)

情報公開用文書

「血液障害合併慢性硬膜下血腫症例の治療方針に関する検討」へのご協力のお願い

1, 研究（調査）の目的と概略

慢性硬膜下血腫は比較的侵襲の少ない手術ですが、血液疾患・血液障害を合併した場合は止血困難が予測され、手術の可否や適応について議論が残ります。このような症例における手術の治療方針を後方視的に再検討し、各血液疾患における手術可能性の評価のポイントや手術に必要な前処置を整理することで、この稀な病態における外科的治療の安全性の向上を目的としています。

2, 研究（調査）の方法

2015年4月～2023年12月に当院脳神経外科で治療した慢性硬膜下血腫症例のうち、血液障害を合併した5例を対象としました。これらの症例において、年齢、性別、初診時意識レベル、瞳孔所見、神経症状、血液検査所見、頭部CT所見、術前輸血の有無・その種類、手術の有無と退院時・最終経過観察時の modified Rankin Scale、最終予後、予後規定因子について検討します。すべて診療録から後方視的に抽出し解析を行なう観察研究であり、個人情報特定されることはありません。

3, 研究（調査）の参加施設

当院のみの観察研究です。

4, 調査期間

調査期間 2015年4月1日から2023年12月31日まで

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、慢性硬膜下血腫の診断の元、手術（穿頭洗浄術）あるいは保存的治療が施行された患者様です。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、

ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 日本脳神経外科学会第 83 回学術集会 (東京女子医科大学脳神経外科)

当院研究責任者 徳島県立中央病院脳神経外科 新野清人

TEL 088-631-7151 (内線 5075)